

KADOKAWA、アニメ・実写の制作領域の改革 新構想「創る人をつくる。創る所をつくる。」を始動！ ～クリエイターが誇れる環境を目指して～

スタジオ ワン ベース

第一弾、巨大アニメ制作拠点『Studio One Base』を池袋に2026年秋新設

株式会社KADOKAWA（本社：東京都千代田区、取締役 代表執行役社長 CEO：夏野剛、以下 KADOKAWA）は、アニメ・実写領域の制作体制を抜本的に強化する新構想「創る人をつくる。創る所をつくる。」を始動します。その第一弾として、アニメ制作スタジオを集約し、池袋・サンシャインシティ内に約1,400坪の新たな制作拠点「Studio One Base（読み：スタジオワンベース）」を2026年秋（予定）に開設することをお知らせします。

近年、日本のアニメ産業は国内外で拡大を続け、作品数の増加や企画の大型化が進む一方、制作現場ではクリエイター不足や業務の複雑化などの課題があり、業界全体として持続可能な制作体制の整備が求められています。こうした状況を背景に、KADOKAWAはアニメの制作体制をIP展開を支える重要な柱と位置づけています。

KADOKAWAでは2025年4月、アニメ・実写の制作スタジオを横断的に統括する「スタジオ事業局」を新設し、バックオフィス機能の集約、福利厚生の整備、スタジオ横断の合同リクルートなど、就労環境の改善と人材採用・育成体制の強化を推進してまいりました。今回新設する巨大なアニメ制作拠点「Studio One Base」は、複数のアニメ制作スタジオを物理的に集約することで、バックオフィス機能の集約などこれまでの取り組みをさらに加速させることに加え、情報共有や連携の迅速化、クリエイターが制作に集中できる環境づくり、スタジオ間のノウハウ連携や若手育成の強化を図ります。

KADOKAWAは「創る人をつくる。創る所をつくる。」構想のもと、今後も制作力向上とクリエイター支援を拡大し、IP創出力の強化を継続してまいります。

■ 「Studio One Base」施設概要

- 開設時期：2026年秋（予定）
- 所在地：池袋・サンシャインシティ内オフィスフロア
- 延床面積：約1,400坪
- 入居会社：株式会社KADOKAWA（関連部署）、株式会社ENGI、株式会社Studio KADAN、株式会社レイジングブル、株式会社ベルノックスフィルムズ、株式会社チップチューン
- 就業人数：約400名



「Studio One Base」イメージ図

■業績への影響
当期の連結業績に与える影響は軽微です。

以上

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ先】
株式会社KADOKAWA 広報部
pr-dept@kadokawa.jp

【NEWS RELEASE】

2026年3月5日

報道関係者各位

株式会社KADOKAWA
豊島区
株式会社サンシャインシティ**KADOKAWA・豊島区・サンシャインシティが連携強化
池袋を『世界に誇るアニメシティ』へ！**

スタジオワンベース

巨大アニメ制作拠点『Studio One Base』を池袋・サンシャインシティに2026年秋新設

株式会社KADOKAWA（本社：東京都千代田区、取締役 代表執行役社長 CEO：夏野剛、以下 KADOKAWA）、豊島区（区長：高際みゆき）、株式会社サンシャインシティ（本社：東京都豊島区、代表取締役社長：脇英美）は、この度、KADOKAWAがアニメ制作スタジオを集約し、池袋・サンシャインシティ内に新たな制作拠点「Studio One Base」（読み：スタジオワンベース）を開設することを起点に、池袋をエンタメとクリエイションが一体となった『世界に誇るアニメシティ』へと発展させるための連携を強化することをお知らせします。

池袋を『世界に誇るアニメシティ』へ！

（左から）株式会社KADOKAWA 執行役 Chief Studio Officer 菊池剛、豊島区長 高際みゆき、株式会社サンシャインシティ 代表取締役社長 脇英美

■背景・目的

日本アニメの市場は成長トレンドが継続しており、一般社団法人日本動画協会が発表したデータによると、2024年のアニメ産業市場は前年比114.8%の3兆8,407億円で、過去最大を更新しました。日本政府は、アニメや漫画、映画、ゲームなどのコンテンツ産業を国の基幹産業と位置づけ、2023年に5.8兆円だった日本のコンテンツ産業の輸出額を、2033年までに20兆円とする目標を掲げており、アニメ産業市場も今後さらなる市場成長が見込まれています。



KADOKAWA、豊島区、サンシャインシティは、池袋エリア一帯を舞台とする「池袋ハロウィンコスプレフェス」を、KADOKAWAグループの子会社である株式会社ダウンゴや地域・関係団体と連携し、長年にわたり安全・安心な運営のもと開催してきました。またサンシャインシティでは、KADOKAWAアニメ作品のイベントやプロモーションを多数実施するなど、様々なエンターテインメントの提供を通じて、継続的な信頼関係を築いてまいりました。

このたび、KADOKAWAによる「Studio One Base」の開設を起点に、アニメ制作スタジオ拠点という新たな魅力が加わります。これにより池袋は、これまでの「観る」「楽しむ」「体験する」エンターテインメントの中心地としての役割に加え、アニメ産業を「創る」「育てる」「発信する」クリエイションの中心地としても発展させていきます。今後、エンタメとクリエイションが一体となった『世界に誇るアニメシティ』に向けて、人材発掘・育成や観光促進など、多岐にわたる分野で更なる連携強化を推進してまいります。

■各社の現状と強み

KADOKAWAは、基本戦略「グローバル・メディアミックス with Technology」において、アニメ事業をメディアミックスの中核の一つと位置づけ、IPのLTV（Life Time Value）の最大化を推進しており、自社・他社原作のバラエティに富んだ、年間約60作品を製作（少額出資含む）しています。また現在、グループ内のアニメ制作スタジオは7社まで増加し、就労環境の改善、人材採用・育成体制の構築などクリエイターが業務に注力できるための環境づくりに取り組んでおります。

豊島区はこれまで『マンガ・アニメ・コスプレの聖地』として、マンガ・アニメを活用したまちづくりを進めています。マンガ・アニメの原点「トキワ荘」があったまちとして、手塚治虫をはじめとするマンガの巨匠たちが住み集い、若き青春時代を過ごした伝説のアパート「トキワ荘」の当時は忠実に再現した「トキワ荘マンガミュージアム」があり、アニメのまちとして日々賑わう池袋には、アニメイトをはじめとしたアニメ関連ショップが立ち並び、日々国内外から多くの来街者を迎えています。

大型複合施設であるサンシャインシティは、年間を通してアニメや様々なIPコンテンツを用いたイベント等を実施することで施設内外に賑わいをつくり、年間3,000万人以上のお客様にお越しいただいております。イベントホールや展望台などの各施設では作品の原画展や世界観を体感できるイベントを実施しています。また、専門店街アルパ・スカイレストランは国内最大級のキャラクターショップの集積と、IPコンテンツと連動した各店舗の商品展開や販促施策などが大きく影響、貢献し、2024年度の売上高が359億円とバブル期に記録した過去最高売上高を

更新しました。今年度も、キャラクターショップの好調に支えられながら2026年1月までの売上高は前年度を上回るペースで推移しており、現在進行中の店舗刷新などにより更なる売上高の伸長が見込まれております。

■KADOKAWA「Studio One Base（読み：スタジオワンベース）」概要

KADOKAWAグループのアニメ制作スタジオを集結させ、池袋・サンシャインシティ内に巨大なアニメ制作拠点「Studio One Base」を2026年秋（予定）に開設します。複数のスタジオを物理的に集約することで、バックオフィス機能の集約などこれまでの取り組みをさらに加速させることに加え、情報共有や連携の迅速化、クリエイターが制作に集中できる環境づくり、スタジオ間のノウハウ連携や若手育成の強化を図ります。

- 開設時期：2026年秋（予定）
- 所在地：池袋・サンシャインシティ内オフィスフロア
- 延床面積：約1,400坪
- 入居会社：株式会社KADOKAWA（関連部署）、株式会社ENGI、株式会社Studio KADAN、株式会社レイジングブル、株式会社ベルノックスフィルムズ、株式会社チップチューン
- 就業人数：約400名



「Studio One Base」イメージ図

■各社コメント

株式会社KADOKAWA 執行役 Chief Studio Officer 菊池剛：

「この度、新たな制作拠点「Studio One Base」開設を発表できることを大変嬉しく思います。アニメ産業において、その未来を担うクリエイターの皆様が誇りを持って働ける環境をつくることが私たちの使命です。新拠点開設により、アニメ制作現場のイメージを刷新し、スタジオ機能を効率化して生産性を高めるとともに、クリエイターの待遇を改善することで、誇りを持てる職場、憧れる職業となるような「創るところ」に取り組んでまいります。また、豊島区様および株式会社サンシャインシティ様との地域連携を一層強化し、池袋を『世界に誇るアニメシティ』へと発展させることで、グローバルなIP創出力を確立してまいります。」

豊島区長 高際みゆき：

「KADOKAWA様の新たなアニメ制作スタジオ拠点の開設を心より歓迎いたします。豊島区は『マンガ・アニメ・コスプレの聖地』として、これまで、イベントを中心に様々な取り組みを進めてまいりました。KADOKAWA様との連携により、池袋がアニメの『創る』拠点としても発展し、若手クリエイターの育成や産業、地域活性化などに共に取り組むことで、昨年本区が策定した「豊島区基本構想」の3つの理念「誰もがいつでも主役」「みんながつながる」「出会いと笑顔が咲き誇る、憧れのまち」の実現に大きく近づくことを確信しております。」

株式会社サンシャインシティ 代表取締役社長 脇英美：

「KADOKAWA様のアニメ制作スタジオがサンシャインシティにご入居されることを大変光栄に思います。サンシャインシティは、これまでも「なんか面白いこと、ある。」をキャッチコピーに様々なエンターテインメントを提供してまいりましたが、今回の巨大なアニメ制作拠点開設により、アニメを創る拠点という新たな魅力が加わることとなります。豊島区様、KADOKAWA様と協力し、豊島区・池袋エリアがアニメの聖地として更に認知され、一層の成長と価値向上に繋がるよう、地域と社会に“なんか面白いこと”を実現していきたいと考えております。」

■各社について

株式会社KADOKAWAについて

出版、アニメ・実写映像、ゲーム、Webサービス、教育・EdTechなどの事業を展開する総合エンターテインメント企業です。世界中から才能を発掘して多彩なIP（Intellectual Property）を創出し、さまざまなメディアで展開。創出したIPをテクノロジーの活用により世界に届ける「グローバル・メディアミックス with Technology」戦略を掲げ、IP価値の最大化を推進しています。

<https://group.kadokawa.co.jp/>

豊島区について

区の中心に位置する池袋駅の周辺には百貨店やサンシャインシティなどの商業施設、オフィスビルが集積し、区内各地域で地域の再生や活性化につながるまちづくりが展開されています。昨年「豊島区基本構想」を策定し、3つの理念「誰もがいつでも主役」「みんながつながる」「出会いと笑顔が咲き誇る、憧れのまち」の実現を目指しています。

<https://www.city.toshima.lg.jp/>

株式会社サンシャインシティについて

水族館、展望台、ショッピングセンター、オフィス、イベントスペース、レストラン、ホテル、博物館、劇場など多種多様な施設からなる大型複合施設「サンシャインシティ」を管理・運営。サンシャインシティグループは、「なんか面白いこと、その創造力を街の力に」をスローガンに、独自のディベロップメント力を活かし、地域と社会に“なんか面白いこと”を提供することをミッションにまちづくりに取り組んでいます。

<https://co.sunshinecity.co.jp/>

以上

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ先】

株式会社KADOKAWA 広報部

pr-dept@kadokawa.jp